

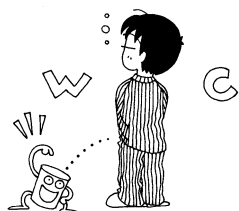
ほけんだより



令和2年9月9日 香取市立東大戸小学校 養護教諭

暑いが続いています。熱中症警戒アラートが出る日も多く、なかなか外遊びができない日が続いています。体育は熱中症指数計で暑さ指数を計測し、実施するかどうか判断しています。詳しくは裏面をご覧ください。

今後の健診は以下の通りです



明日9/10は、耳鼻科健診があるため、マチコミによる体温入力は8:00厳守でお願いします。入力されていない方には、普段より早めに再確認のメールを送付させていただきます。

健康診断	日時	
耳鼻科健診	9/9 (木) 9:00~	学校医：浅野尚Dr. 浅野先生は、右手に鼻鏡（鼻の穴に入れて中を診る器具）、左手に舌圧子（喉を診るために舌を押さえる器具）をそれぞれ持ち健診をします。そのため、基本的に児童に接触するのは鼻鏡、舌圧子のみです。学年ごとなど適宜手袋を交換します。
尿検査	9/16 (水) 朝の尿をとり、学校に持ってくる。	検査機関：江東微研 前日に、尿検査容器と保健だよりを配付します。翌日の朝一番の尿をとり、学校に持ってきます。養護教諭が確認し、検査機関に渡します。

コロナ禍で、学校での健診をすることに不安のある方は、養護教諭までお電話でご相談ください。

健康診断の実施方法について（東大戸小学校・全健診共通）

- ・健診当日、体調の悪い児童は受診できない。
- ・健診前2週間にかぜ症状のあった児童は受診できない。（かかりつけの医師を受診する）
- ・健診を待つときは、ソーシャルディスタンスを保つ。
- ・健診前に児童は手洗いと手指消毒を行う。健診後は会場を出た後、手指消毒をする。
- ・校医は、児童に可能な限り触れないで健診を行う。触れた場合は、手の消毒をするか、ゴム手袋を交換する。
- ・校医にかぜ症状等があった場合は、健診は延期する。
- ・健診器具は、これまでどおり養護教諭が煮沸消毒し、一人一つずつ使用する。使用後は飛沫等が飛ばないように洗浄までの間消毒薬に入れる。



熱中症対応について

今年から、熱中症警戒アラートが発令されるようになりました。それに伴い学校での熱中症対応を見直して対応しています。環境省 HP で千葉県香取市の暑さ指数を確認し、健康委員の児童が毎日朝の放送で呼びかけをしています。

教室も換気をする、冷えた空気が逃げていき教室の温度がなかなか下がらない状態です。状況に応じて教室を締め切ってエアコンを稼働させています。暑さが落ち着くまでは、感染症予防よりも熱中症対策を優先します。

《暑さ指数(WBGT)》	運動の指標	外遊び	体育(外、体育館)
危険 31℃以上	運動原則中止	なし 厳重警戒であつても休み時間は管理が難しいため	なし
厳重警戒 28～31℃	激しい運動中止		熱中症指数計により判断 暑さ指数30以上は体育中止
警戒 25～28℃	積極的に休息	あり	あり
注意 21～25℃	積極的に水分補給		
ほぼ安全 21℃以下	適宜水分補給		



熱中症は、温熱環境にさらされた直後に症状が出ることもありますが、かなり時間がたってから出ることもあります。

学校では元気で過ごしても、帰宅してから発熱したり、気分が悪くなったりすることもあります。その際は、マチコミ入力あるいは連絡帳などでお知らせください。

昨年度 PTA 会費で購入した「熱中症指数計」です。

- 暑さ指数
 - 温度
 - 湿度
- の3つが表示されます。

※暑さ指数と温度は別のものです。